

岡山連携中枢都市圏 令和4年度の取組状況

令和5年8月17日
岡山市政策局政策部政策企画課

【連携分野：圏域全体の経済成長のけん引】

①

取組	新たな産業の創出及び地域産業の振興	事務事業	スタートアップ企業支援	
関係市町	★岡山市 □津山市 □玉野市 ■総社市 ■備前市 □瀬戸内市 □赤磐市 ■真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・岡山市のスタートアップ支援拠点施設(ももスタ)の運営、及びももスタで開催されるイベントの広報・周知による広域での裾野の拡大 ・関係市町で事業を行っているスタートアップへの支援協力 ・関係市町と連携したイベントの開催 (見込まれる効果) ・地域経済の担い手として期待されるスタートアップを目指す層を増やし、多くのスタートアップを生み出す。 (岡山市の役割) ・スタートアップ支援拠点の運営 ・漠然と起業に関心を持つ層や起業を目指す層をターゲットにしたイベントの開催 (連携市町の役割) ・イベントの広報周知		・スタートアップ支援拠点施設の運営(岡山市)スタートアップ支援拠点において、連携市町の起業希望者も参加できるよう工夫を凝らしたイベントの開催。 (連携市町)スタートアップ関連のイベント等の広報周知に相互協力。 ・意見交換の実施 事業相乗を希望している津山市、玉野市を交え、スタートアップ支援における各連携市町の状況や連携中枢都市圏の今後の取組み等の意見交換を令和4年9月30日に実施。 ・情報交換の実施 連携市町で実施されたスタートアップ支援事業について、担当レベルで情報交換を実施。		・スタートアップの裾野の拡大に繋げるため、スタートアップ関連のイベント等の広報周知に相互協力する。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	拠点で開催されるイベント参加者数	1,800人 (令和2年度)	1,245人 (令和4年度)	2,000人 (令和8年度)

②

取組	新たな産業の創出及び地域産業の振興	事務事業	中小企業の経営健全化・人材確保等支援	
関係市町	■岡山市 ■津山市 □玉野市 ★総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・圏域内企業と新規学卒者等とのマッチングを図るため、圏域内企業による合同企業説明会の開催と新規学卒予定者等への参加の呼びかけを実施(合同企業説明会) ・小規模企業に対するセミナーや後継者確保支援事業等の実施(セミナー) (見込まれる効果) ・企業の人材確保につながる。(合同企業説明会) ・販路開拓や後継者確保等が促進される。(セミナー) (岡山市の役割) ・合同企業説明会の開催に向けた調整及び取りまとめ(合同企業説明会) ・セミナー開催に向けた調整及び取りまとめ(セミナー) (連携市町の役割) ・合同企業説明会の開催に向けた調整(合同企業説明会) ・セミナーの開催に向けた調整(セミナー)		(合同企業説明会) ・合同企業説明会の開催 R4.10.25開催 参加企業数52社(内訳:岡山市31社、津山市5社、総社市5社、備前市3社、瀬戸内市3社、赤磐市2社、真庭市3社) ・担当者会議の開催 令和4年7月7日 内容:事業の進め方につき、岡山市及び各市担当者の意見調整を行った。 (セミナー) ・小規模企業に対するセミナーの開催 事業承継セミナー(R4.11.15開催) 参加者59名		(合同企業説明会) ・近年、新規学卒予定者等を対象とした合同企業説明会の参加者は減少傾向にある。 ・開催時期や手法については、アンケート等により企業、学生のニーズを分析し、地元企業の人材確保の機会創出につながるよう検討していく。 (セミナー) ・オンラインとリアルハイブリッド形式を用いた講義方法を採用したことにより、講師がどちらの参加者を重視して話をすべきか戸惑いが生じたとの意見を頂いた。 ・オンラインでの画面配置を工夫し、講義風景と資料提供を適時適切に切替を行う。現場の音声等もオンライン参加者が共有することが出来る内容・方式とする。 (リアル参加者の質問等の声をマイク等で拾うことが出来るようにする。)
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	合同企業説明会への参加企業数(合同企業説明会)	43社/年 (令和元～2年度)	52社 (令和4年度)	50社 (令和8年度)
	研修参加者人数(セミナー)	22人/回 (令和元年度)	59人/回 (令和4年度)	30人/回 (令和8年度)

【連携分野：圏域全体の経済成長のけん引】

③

取組	地域資源を活かした商品や農産物の販路開拓・拡大	事務事業	新規需要創出・喚起促進	
関係市町	<input checked="" type="checkbox"/> 岡山市 <input type="checkbox"/> 津山市 <input type="checkbox"/> 玉野市 <input type="checkbox"/> 総社市 <input type="checkbox"/> 備前市 <input type="checkbox"/> 瀬戸内市 <input type="checkbox"/> 赤磐市 <input checked="" type="checkbox"/> 真庭市 <input type="checkbox"/> 和気町 <input type="checkbox"/> 早島町 <input type="checkbox"/> 久米南町 <input type="checkbox"/> 美咲町 <input type="checkbox"/> 吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
<p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真庭市と岡山市とで連携し、建築技術者、設計者、施主、木材関係者等を対象にCLTを使用した建築物の構造見学会を開催する。 <p>(見込まれる効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CLTを含む木材の需要が拡大する。 <p>(岡山市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造見学会やセミナーの参加者募集及び当日準備 <p>(連携市町の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造見学会やセミナーの開催及び参加者募集 		<ul style="list-style-type: none"> ・構造見学会等の開催 <p>令和4年9月26日に岡山大学にてCLTセミナー及び構造見学会を実施 セミナー参加者80名</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・当初の想定よりも、関連企業等の参加者数を伸ばすことができなかったため、2市で協力し、広報の強化を行い、更なる集客に取り組む。現状の役割分担を元に進めていく。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	PRセミナー参加者数	476人(累計) (平成29～令和2年度)	80人 (令和4年度)	500人(累計) (令和4～8年度)

④

取組	地域資源を活かした商品や農産物の販路開拓・拡大	事務事業	特産農産物PR	
関係市町	<input checked="" type="checkbox"/> 岡山市 <input type="checkbox"/> 津山市 <input type="checkbox"/> 玉野市 <input type="checkbox"/> 総社市 <input type="checkbox"/> 備前市 <input checked="" type="checkbox"/> 瀬戸内市 <input checked="" type="checkbox"/> 赤磐市 <input checked="" type="checkbox"/> 真庭市 <input checked="" type="checkbox"/> 和気町 <input type="checkbox"/> 早島町 <input type="checkbox"/> 久米南町 <input type="checkbox"/> 美咲町 <input type="checkbox"/> 吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
<p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市で開催する大規模な産直イベントにおける特産農産物のPR ・県内外でのイベント等を活用した特産農産物のPRの実施 ・担当者会議を開催し、圏域内外における特産農産物のPRについて情報共有や新たな手法の検討を行い、具体化を図る。 <p>(見込まれる効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域の特産農産物の知名度を向上させることができる。 <p>(岡山市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産直イベントの出店調整 ・担当者会議の開催 ・PRイベント等の実施に向けた調整 <p>(連携市町の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産直イベント出店者の確保 ・PRイベント等の実施に向けた調整 ・地元JA等農業者関係者との調整 		<ul style="list-style-type: none"> ・おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ2022)の開催 <p>日時:令和4年11月5日 場所:下石井公園(岡山市) 参加生産者数:21者 来場者数:約4,200名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議の開催 <p>日時:令和4年7月1日 オンライン会議</p> <p>参加市町:赤磐市農林課、瀬戸内市産業振興課、備前市農政水産課、真庭市産業振興課、和気町産業振興課</p> <p>内容:地産地消マルシェでの特産物PR協力依頼について、今後の連携施策と事業の展開について</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・産直イベントにおける連携市町からの出展者の確保 ・PR事業に向けての連携市町との調整(実施方法と実施時期等) ・連携市町で開催されるイベントの情報収集、PR出展の検討
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	PRイベントへの延べ参加生産者数	13者 (令和3年度)	21者 (令和4年度)	18者 (令和8年度)

【連携分野：圏域全体の経済成長のけん引】

⑤

取組	地域資源を活かした商品や農産物の販路開拓・拡大	事務事業	食品製造業見本市共同出展	
関係市町	★岡山市 □津山市 □玉野市 ■総社市 □備前市 ■瀬戸内市 □赤磐市 ■真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)	今後の課題・方向性	
(事業概要) ・新たな販路開拓に意欲ある圏域内の食品製造業企業を束ねて、首都圏で開催される大規模な食品製造業見本市へ共同ブースを出展する。 (見込まれる効果) ・圏域のものづくり企業の一体的な情報発信や食品製造業の販路開拓・拡大につながる。 (岡山市の役割) ・見本市の全体運営及び事前調整 (連携市町の役割) ・地域企業の取りまとめ		・担当者会議(岡山市主催)の開催 R4.4.20にオンラインで実施。 ・食品製造業見本市への出展 <出展した見本市> ・名称 第32回グルメ&ダイニングスタイルショー 秋2022 ・会期 令和4年9月7日～9日(3日間) ・会場 東京ビッグサイト ・出展社数 計13社(岡山市7社、瀬戸内市3社、総社市2社、真庭市1社) ・見本市会期中の商談件数(全体) 1,355件 出展1社あたり平均商談件数 約104件 <その他支援> ○首都圏でのテストマーケティング ・会場 日本百貨店 秋葉原店 ・テストマーケティングでの売上実績 19商品 合計金額15,691円	・新規出展企業の発掘が課題 ・事業内容や出展先等を含めて、連携市と協議を重ねながらより効果的な手法を検討し、新規出展企業の発掘を進めていく。	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	見本市会期中の出展1社あたり平均商談件数	90件/年 (平成30～令和元年度)	104件(令和4年度)	100件 (令和8年度)

⑥

取組	国内外に開かれた広域観光の推進	事務事業	圏域内周遊に向けた観光資源発信	
関係市町	★岡山市 ★津山市 ★玉野市 ★総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ★真庭市 ★和気町 □早島町 ■久米南町 ★美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)	今後の課題・方向性	
(事業概要) ・歴史や文化などの分野において、観光素材を活用した誘客に繋がる魅力的なテーマを設定し、テーマに関連した自治体が観光コンテンツの開発や情報発信を実施する。 ・日本遺産に認定されている古代吉備の遺産群を舞台とした桃太郎伝説のストーリー及び構成文化財を活用して、国内外に魅力を発信し、認知度の向上や観光誘客を図るとともに、地域と協力をした取り組みの継続により、郷土への愛着や誇りを育む。 ・圏域全体の交流人口の増加に向け、圏域の玄関口に位置し、圏域内有数の観光客数を誇る岡山城・岡山城周辺の観光施設を整備する。 ・圏域内最大の観光客数を誇る岡山城・岡山後楽園周辺の回遊の起点となる石山公園を再整備し、魅力や回遊性の向上を図る。 ・既存のサイクリングルート(吉備路、吉備高原)を再整備し、地域の自然・歴史資源をルートとともに紹介することで、多くの方にサイクリングルートと自然・歴史資源を体験してもらう。 ・サイクリングルート利用促進のため、路面表示設置、案内看板の更新、路面段差解消や補修、サイクリングマップの作成・更新を行う。 (見込まれる効果) ・観光客の滞在時間の増加につながる。 ・圏域内観光客の増加につながる。 (岡山市の役割) ・事業の実施及び取りまとめ、関係団体等との調整 ・岡山城・岡山城周辺施設の整備 ・石山公園の再整備 ・サイクリングマップの更新・印刷 ・岡山市分の路面表示及び看板設置 (連携市町の役割) ・事業の実施、関係団体等との調整 ・再整備後の石山公園を含む岡山城周辺エリアの集客力を活用し、各地域を活性化 ・サイクリングマップの増刷 ・総社市分、吉備中央町分の路面表示及び看板設置の検討		・瀬戸内市との連携事業 ●瀬戸内満喫周遊ツアーの造成販売(Ⅰ期:7月23日～8月28日、ツアー数:13本、Ⅱ期:10月2日～12月4日、ツアー数:14本) ●宇喜多家ゆかりの地を巡るスタンプラリーの実施(11月1日～3月12日) ・日本遺産活用推進事業 ●観光誘客のための取組 ○古墳パスタンプラリーの実施(7月1日～9月30日、参加店舗数:8店舗) ○御墳印及び御墳印帳の制作(販売数:295冊、販売場所:岡山市・総社市・赤磐市の4施設) ○写真家浅田政志と桃太郎伝説の地を巡る撮影ツアー及びフォトコンテストの開催(ツアー:10月15日、11月12日、フォトコンテスト:10月15日～12月31日) ○体験プログラムの実施及び情報発信(10月10日～12月16日、プログラム数:6つ) ○DCIに合わせた吉備ロマン無料循環バスの運行(7月16日～9月25日、発着地点:岡山駅を始め10箇所) ●地域活性化のための取組 ○日本遺産ガイドの活用 ・岡山城・岡山後楽園周辺の観光施設整備 ●岡山城大規模改修工事(11月3日リニューアルオープン) ・他圏域との連携 ●岡山県日本遺産認定自治体連絡会議 第1回:令和4年5月17日、場所:倉敷市役所 第2回:令和4年8月31日、場所:旧吹屋小学校 第3回:令和5年2月6日、場所:岡山城不門 ●県内7つの日本遺産と連携したパンフレット等の相互設置。 ●日本遺産フェスティバルin下関において、県内7つの日本遺産のブースを巡るスタンプラリーの実施。 ・ワークショップやサウンディングを実施し、岡山城主要部跡地の整備方針を取りまとめた。	・県外の誘客促進のための効果的なPR手法 ・県内の日本遺産と連携した取組による誘客の促進 ・県外の古墳を含めた関係機関等の連携による情報発信の強化 ・県内外への積極的プロモーションの継続 ・県内の日本遺産認定自治体との協働の推進 ・石山公園の再整備方針については、岡山城主要部跡地の整備方針と丁寧に整合を図る必要がある。	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	圏域内観光入込客数	19,043千人 (令和元年)	11,067千人 (令和3年度)	23,000千人 (令和8年)

【連携分野：圏域全体の経済成長のけん引】

⑦

取組	国内外に開かれた広域観光の推進	事務事業	岡山型ムスリムツーリズムの推進	
関係市町	★岡山市 □津山市 □玉野市 □総社市 □備前市 □瀬戸内市 □赤磐市 ■真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)	今後の課題・方向性	
(事業概要) ・岡山型ヘルスツーリズム連携協議会の管理・運営 ・飲食店等観光関連施設に対するムスリム受入対応のブラッシュアップ ・岡山在住ムスリムと連携した情報発信や受入体制のブラッシュアップ ・ムスリム誘客のための国内外へ向けた各種プロモーションの実施 ・現地旅行会社やランドオペレーターとの関係構築 (見込まれる効果) ・ムスリムをはじめとする国内外からの観光客増加につながる。 ・観光客の滞在時間の増加につながる。 (岡山市の役割) ・事業の実施及び取りまとめ ・岡山型ヘルスツーリズム連携協議会の運営(事務局) (連携市町の役割) ・事業の共同実施 ・岡山型ヘルスツーリズム連携協議会の会員としての参加		・日本国内のモスクや日本在住のムスリムへの情報発信 ・岡山型ヘルスツーリズム連携協議会の管理・運営(第1回幹事会:令和4年4月20日)(第2回幹事会:令和5年2月9日) ・観光関連施設に対するムスリム対応の指導・育成 ・岡山在住ムスリムネットワークの運営・活用 ・ムスリムガイドブックの製作(英語・インドネシア語) ・ムスリムサイト管理・運営、SNSによる情報発信(英語・インドネシア語) ・JNTOと連携したプロモーション ・当該地域へのツアー造成・広告・販売のため、PRデスクの設置や現地旅行会社等との連携 ・ファムツアーの実施・SNSによる発信(マレーシア・インドネシア向け) ・JNTO主催オンライン商談会への参加(ジャカルタ・スラバヤ市場) ・Japan Travel Fair 2022への出展(マレーシア) ・Japan Travel Fair 2022 Onlineへの出展(マレーシア) ・Japan Travel Fair 2023での情報発信(インドネシア) ・MATTA Fair March 2023への出展(マレーシア) ・セールスコールの実施(マレーシア) ・JNTO主催商談会への参加(マレーシア) ・東南アジアのムスリム向けメディア『Salam Groovy Japan』による情報発信 ・JNTO主催の旅行会社招請ツアーの対応 ・ムスリム受入施設のブラッシュアップ	・コロナ禍で完全に止まっていた訪日旅行が再開され、他都市との旅行者の誘致合戦に負けないようムスリムを誘客していくため、JNTO等に岡山を認知させ、影響力のあるJNTO等からの情報発信に結び付ける必要がある。 ・岡山地域の強みであるムスリムフレンドリーを前面に出し、BtoBやBtoCへ働きかけるとともに、JNTOなど影響力のある団体などに協力が得られるよう働きかける。	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	ムスリム観光客宿泊者数	1,812人 (令和元年度)	513人 (令和4年度)	4,059人 (令和7年度)
	公式SNSのフォロワー数	12,000人 (令和3年度)	29,934人 (令和4年度)	24,000人 (令和7年度)

⑧

取組	国内外に開かれた広域観光の推進	事務事業	アートイベントの連携による情報発信	
関係市町	★岡山市 □津山市 ★玉野市 □総社市 □備前市 □瀬戸内市 ■赤磐市 ★真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)	今後の課題・方向性	
(事業概要) ・関係市町で開催するアートイベントについて、情報共有や情報発信の相互協力を行う。 (見込まれる効果) ・圏域内外に広く周知することができる。 ・観光客の滞在時間の増加につながる。 ・圏域内観光客の増加が期待できる。 (岡山市の役割) ・担当者会議の開催と連携市町の情報収集、共有及び共有された関係市町情報のPR (連携市町の役割) ・担当者会議への参加と情報提供、共有及び共有された関係市町情報のPR		・情報発信の相互協力 岡山市のイベントについて、連携市町へパンフレット等を郵送した(9月末)。 岡山芸術交流2022と瀬戸内国際芸術祭2022のホームページで、相互にPRし相乗効果を図った。 関係他市町のイベント情報をPRした。 岡山市のアートイベントでの制作物の有効活用先を県内、連携市町から広く情報提供したところ、連携市町である玉野市、赤磐市内からも応募があった。	・各市での取り組みに集中せざるを得ないため、連携や情報共有が遅れがちで不十分となる。 ・定期的に連絡を取るなど、早めに情報共有できる仕組みを検討する。	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	情報発信回数	5回 (令和元年度)	5回 (令和4年度)	5回/年 (令和4～8年度)

【連携分野：高次の都市機能の集積・強化】

⑨

取組	高度な中心拠点の強化	事務事業	市街地再開発事業の促進	
関係市町	★岡山市 □津山市 ■玉野市 ■総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 ■赤磐市 □真庭市 ■和気町 ■早島町 ■久米南町 ■美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・観光、MICE、文化等の機能を備えた市街地再開発事業に対して補助金を交付する。 ○岡山市表町三丁目10番11番23番24番地区第一種市街地再開発事業(文化機能) (見込まれる効果) ・良好な都市環境や賑わいが創出され、交流が促進される。 (岡山市の役割) ・再開発事業者に対する補助金の交付 (連携市町の役割) ・都市機能を活用し、地域を活性化		・R4年度末で事業完了		/
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	
	歩行者通行量 (旧銀ビル前)	1,143人/日(休日) 658人/日(平日) (平成30年度)	706人/日(休日) 611人/日(平日) (令和4年度)	3,600人/日(休日) 2,100人/日(平日) (令和6年度)

⑩

取組	広域的交通網の整備・利用促進	事務事業	JRの利用促進と駅機能強化	
関係市町	★岡山市 ★津山市 ★玉野市 ★総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 ★和気町 ■早島町 ■久米南町 ■美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・交通結節機能強化 ・既存路線の利用促進 (見込まれる効果) ・利用者の公共交通の利便性向上が期待できる。 (岡山市の役割) ・岡山市域内での連携事業の実施 ・連携事業の進捗管理 (連携市町の役割) ・連携事業の実施		【岡山市】・岡山駅東口駅前広場整備工事の実施 ・庭瀬駅北口駅前広場整備工事の実施 【津山市】・津山駅の駅機能強化(バリアフリー化) ・JRローカル線の魅力発信 ・岡山DCの事業に関連し、観光列車あめつちおもてなし事業、まなびの鉄道館ナイトフェスにおける美作ローカル鉄道利用促進チラシ・ノベルティ配布による利用促進活動の実施 ・津山さくらまつり、岡山DCにおける2次交通の臨時便運行によるアクセス改善 ・鉄道駅周辺駐車場等使用料助成事業の実施による鉄道利用の促進 【玉野市】・宇野線利用促進対策協議会への参加(令和4年10月)、検討事項に係る情報提供及び連携実施(通年) 【瀬戸内市】・邑久駅、長船駅、大富駅に関して、JR駅前等整備事業を実施中 【赤磐市】・岡山県JR在来線利用促進検討協議会が令和4年7月25日に設立され、第1回全体会(令和4年8月開催)に参加し、JRの現状、利用促進、今後の進め方について協議を行った。また、第2回全体(令和5年1月開催)に参加し、ワーキングチームの活動状況、JR在来線に関する情報共有を行った。 【早島町】・駅機能強化に向け駅舎等整備に係る実施設計を令和4年度から2カ年で実施 【美咲町】・JR亀甲駅舎 トイレ改修 【備前市】・JR赤穂線香登駅のトイレ改修		・地域住民の利便性を高めるための沿線自治体等と連携した取組、鉄道と二次交通の効果的な利用周知を実施 ・市内で開催されるイベント等と連携した利用促進策の実施や、駅舎内における情報の掲示方法などPR手法の検討 ・引き続き、岡山県JR在来線利用促進検討協議会を通じて情報共有を図りながら、関係市町と協議していく。また、今後の状況によっては、ワーキングチームの編成も検討していく。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	JR岡山駅乗降客数	13.9万人/日 (令和元年度)	11.9万人/日 (令和4年度)	14.4万人/日 (令和8年度)

【連携分野:高次の都市機能の集積・強化】

⑪

取組	広域的交通網の整備・利用促進	事務事業	岡山市と連携市町を結ぶ基幹道路ネットワークの整備	
関係市町	★岡山市 ★津山市 □玉野市 ★総社市 □備前市 □瀬戸内市 □赤磐市 ★真庭市 □和気町 ★早島町 ■久米南町 ■美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・直轄国道の整備促進に向けた要望活動 ・岡山市と連携市町をつなぐ高速道路網の事業推進及び要望活動 ・圏域の連携に資する幹線道路の整備推進及び要望活動 (見込まれる効果) ・円滑な交通の確保ができる。 ・観光交流の拡大、企業活動の活性化、産業の振興、救命救急活動の迅速化さらには災害時の緊急輸送路の確保につながる。 (岡山市の役割) ・期成会・協議会の会長又は会員として、要望活動の実施 ・岡山市事業の推進 (連携市町の役割) ・期成会・協議会の会長又は会員として、要望活動の実施 ・利用促進や整備促進活動		【期成会・協議会を通じた要望活動】 ○国道2号岡山バイパス渋滞対策促進期成会 (夏)日付:令和4年5月30日 ※会長都市が実施 要望先:国土交通省本省 (秋)日付:令和4年10月19日 ※会長都市が実施 要望先:国土交通省本省 ○一般国道180号岡山県整備促進期成会 日付:令和4年7月26日、8月2日 要望先:国土交通省岡山国道事務所、国土交通省中国地方整備局、国土交通省本省、県選出国会議員 ○空港津山道路整備促進協議会 (夏)日付:令和4年7月6日、7月28日 ※会長都市が実施 要望先:岡山県、国土交通省岡山国道事務所、国土交通省中国地方整備局、国土交通省本省、県選出国会議員、財務省 (秋)日付:令和4年10月24日、11月4日 ※会長都市が実施 要望先:国土交通省岡山国道事務所、国土交通省中国地方整備局、国土交通省本省、県選出国会議員、財務省 ○岡山自動車道利用促進協議会 日付:令和4年7月21日、7月22日 ※会長都市が実施 要望先:国土交通省中国地方整備局、西日本高速道路株式会社中国支社、国土交通省、県選出国会議員 ○国道429号道路整備促進期成会 日付:令和4年7月29日、8月3日 ※会長都市が実施 要望先:国土交通省中国地方整備局、国土交通省本省、県選出国会議員 日付:令和4年12月5日 ※会長、議長、県議で実施 要望先:岡山県 ○主要地方道落合建部線改良促進期成会 日付:令和4年8月16日 要望先:岡山県 ○岡山県中部高原地域整備促進期成会 日付:令和4年7月21日、7月22日、9月1日 ※会長都市が実施 要望先:国土交通省中国地方整備局、国土交通省本省、県選出国会議員、岡山県 【協議会を通じた利用促進・啓発活動】 ○岡山自動車道利用促進協議会 ①米子自動車道全通30周年イベントにおいて、岡山自動車道の利用促進PR活動を実施 日付:令和4年8月6日 ※会長都市が実施 場所:米子自動車道蒜山サービスエリア下り線 沿線自治体のパンフレットを配布。岡山自動車道の利用促進を目的としたアンケートを実施。 ②海山マルシェ(海の市山の市 2022真庭)において、岡山自動車道を含む岡山米子線の利用促進PRブースを出展 日付:令和4年9月25日 ※会長都市が実施 場所:蒜山高原三木ヶ原特設会場 沿線自治体のパンフレットを配布。岡山米子線利用促進イベント(スタンプラリー)のパンフレットを配布。 【岡山市事業の推進】 ○広域道路交通網の整備 吉備スマートIC(用地買収・設計)、美作岡山道路(用地買収・設計・工事)、(主)久米建部線(設計)、(主)高梁御津線(用地買収・設計)、(主)岡山吉井線(用地買収・設計・工事)		・引き続き、事業計画に基づき要望活動を実施する。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	要望活動の実績回数	10回 (令和3年度)	10回 (令和4年度)	10回以上／年 (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

⑫

取組	福祉サービスの向上	事務事業	高齢者見守りネットワーク連携	
関係市町	★岡山市 □津山市 □玉野市 □総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・連携市町に登録がある事業者からの通報対応 ・行方不明になった高齢者の捜索協力 ・一時保護した認知症の疑いのある高齢者の身元調査協力 (見込まれる効果) ・行方不明高齢者や身元不明高齢者の早期発見、早期の身元判明につながる。 (岡山市の役割) ・連絡会議の開催 ・市内関係各所との調整 (連携市町の役割) ・連絡会議への参加 ・各市町内の関係各所との調整		・担当者会議の開催 第1回：令和4年12月 内容：身元不明の方の調査依頼に対する個人情報取扱について各市に根拠法令、依頼フローについて調査を依頼した。 第2回：令和5年3月 内容：個人情報の提供依頼および外部提供する法令根拠を個人情報保護法第69条第2項第4号と整理した。また、運営要領の案を提示し、各市町内で確認を依頼した。		・岡山連携中枢都市圏高齢者見守りネットワーク運営要領の制定 ・令和5年4月から情報の共有・提供の流れを根拠法令や各市町の役割を整理し、情報の共有・提供ができる体制を整備していく。 また、「連携市町に登録がある事業者からの通報対応」、「行方不明になった高齢者の捜索協力」について、優先的に取り組む事業や課題について協議していく。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	方針の決定	—	—	方針の決定 (令和5年度)

⑬

取組	福祉サービスの向上	事務事業	保育園等の広域入所	
関係市町	★岡山市 □津山市 □玉野市 □総社市 □備前市 □瀬戸内市 ★赤磐市 ■真庭市 ★和気町 ■早島町 ★久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・関係市町間で、相互の幼児教育・保育の受け皿の状況及び広域入所に関する住民ニーズ等について情報を共有し、広域連携による保育園等の相互利用に向けた仕組みづくりを行う。 (見込まれる効果) ・利用者の多様な教育・保育ニーズへの対応ができる。 (岡山市の役割) ・担当者会議の開催、情報の収集及び取りまとめ (連携市町の役割) ・担当者会議への参加、情報の収集		・連携市町間の広域入所の実施 19名（令和4年4月～5年3月末） ・担当者会議の開催 第1回：令和4年8月2日 内容：様式の修正案の作成、会議形式の検討及び協議事項の有無をメール照会 第2回：令和4年9月16日 内容：修正後の様式の共有、協議事項についてメール照会 第3回：令和4年10月12日 内容：協議事項のとりまとめ結果の共有		・4月～6月ごろに会議の開催をする計画であったが、保育入所状況等の把握に時間がかかり、実施が遅れた。 ・会議の開催時期をずらすことにより、当年度の広域利用状況等の保育入所状況を把握したうえで、課題の洗い出しができ、円滑な協議を実施する。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	入所手続きに来る来庁回数が1回以内の相談者の割合	100% (令和2年度)	100% (令和4年度)	100% (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

⑭

取組	教育・文化・スポーツの振興	事務事業	学校教育に関する情報共有	
関係市町	★岡山市 □津山市 ■玉野市 ★総社市 □備前市 □瀬戸内市 □赤磐市 □真庭市 ★和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・学校教育において各市町が実施する特色のある取組について情報共有を行うことで、広域的な展開や共通する課題の解決に向けた検討を行う。 (見込まれる効果) ・学校教育における特色ある取組の広域展開や共通課題の解決につながる。 (岡山市の役割) ・情報の共有、担当者会議の開催 (連携市町の役割) ・情報の共有、担当者会議への参加		各市町の特色ある取組について ・第1回担当者連絡協議会 12月23日(書面開催) ・第2回担当者連絡協議会 1月30日(オンライン開催)		・第1回担当者連絡協議会の開催が遅れたため、担当者連絡協議会実施計画を連携市町と前年度中に計画する。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	担当者会議の回数	1回 (令和2年度)	2回 (令和4年度)	2回/年 (令和4～8年度)

⑮

取組	教育・文化・スポーツの振興	事務事業	交流学习	
関係市町	★岡山市 □津山市 □玉野市 □総社市 □備前市 □瀬戸内市 □赤磐市 ★真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業内容) ・岡山市と関係市の学校間でインターネット等も活用し、統一テーマに基づく合同学習と交流を実施する。 ・ESDや水源の里シンポジウム等に関して、旭川流域の複数校が参加するプロジェクト学習等について検討する。 (見込まれる効果) ・持続可能な広域的学校間交流に向けた、学習環境と学習内容の充実につながる。 (岡山市の役割) ・会議の開催、交流学习の実施支援 (連携市町の役割) ・会議への参加、交流学习の実施支援		・岡山市立小串小学校と真庭市立中和小学校が2学期にオンライン交流を実施し、2月には小串小学校の3、4年生の児童が中和中学校を訪問し、環境の異なる地域での体験活動や合同学習を通して充実した交流学习となった。		・岡山市立福渡小学校と真庭市立中和小学校の交流については、現在調整中であり、学校の実態に即した交流の在り方を検討していく必要がある。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	交流学习の実施回数	2回 (令和2年度)	2回 (令和4年度)	2回/年 (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

⑩

取組	教育・文化・スポーツの振興	事務事業	夜間中学設置の検討・準備・運営	
関係市町	★岡山市 □津山市 ■玉野市 □総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 ■赤磐市 □真庭市 □和気町 ■早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・夜間中学設置の検討(～R4) ・夜間中学の設置準備(～R6) ・夜間中学の運営(R7～) ※時期については予定 (見込まれる効果) ・様々な理由により実質的に義務教育を受けることができなかった圏域住民等の就学の機会が確保される。 (岡山市の役割) ・設置方針等の検討、協議の調整、会議等の運営 ・夜間中学の整備・運営 (連携市町の役割) ・夜間中学の整備・運営への参画		・夜間中学設置基本方針の策定にかかる検討 ●検討会議の実施 ●岡山市における公立夜間中学の在り方検討会(有識者会議)の実施 ・連携市町の担当者会議の開催 第1回: 令和4年10月14日 於:岡山市 参加市町: 玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、早島町、吉備中央町 内 容: 夜間中学に関する情報交換、現在までの岡山市立夜間中学の進捗状況について ・授業体験会の実施 第1回目 令和4年8月23日 参加者17名 第2回目 令和4年12月22日 参加者12名		・市民の夜間中学に対する認知度はまだまだ低いと感じており、夜間中学に関する広報活動を実施し、広く周知していく。 ・令和4年度に夜間中学設置基本方針を策定した。今後、基本方針をもとに連携市町と連携を進めるにあたり、具体的な課題を洗い出し、解決に向けての検討を行う。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	方針の決定	—	方針の決定	方針の決定

⑪

取組	教育・文化・スポーツの振興	事務事業	ESD実践	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 ■総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 ★和気町 ■早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・職員や地域住民を対象としたESD・SDGs研修の共同実施 ・関係市町と連携したイベントやパネル展示等による住民等へのESD・SDGsの啓発 ・各地域の課題に対するESD手法を用いた実践活動の検討 ・関係市町間での地域住民の学び合いや交流の機会の創出 (見込まれる効果) ・圏域住民のESD・SDGsについての認知度向上につながる。 ・ESD活動への参加が促進される。 ・ESD活動のネットワーク化が促進される。 ・相互に「学びあい、気づき、行動する」人づくりにつながる。 (岡山市の役割) ・担当者会議の開催 ・研修講師の手配及び打合せ ・岡山会場の手配 ・普及啓発イベント等の運営 (連携市町の役割) ・担当者会議への参加 ・各市町の研修における会場の手配、募集、広報 ・普及啓発イベント等の運営(真庭市)		・岡山市を除く4つの連携市町でESD・SDGs研修会を開催(総社市、赤磐市、真庭市、久米南町) ●赤磐市: R4.9.22(木) (参加人数)19名(市職員、地元企業等) (主なテーマ)SDGsの概要、カードゲームによるSDGs研修 ●久米南町: R4.11.8(火) (参加者)中学生37名、職員、地域おこし協力隊10名 合計47名 (主なテーマ)SDGsの概要、カードゲーム ●真庭市: R4.12.8(木) (参加人数)23名(市職員、連携中枢都市圏職員) (主なテーマ)SDGsの事例を通じてアクションへ ●総社市: R5.2.2(木) (参加人数)20名(公民館関係職員等) (主なテーマ)ESD研修会～公民館・社会教育の取組～ ・未来わくわくSDGsフェスタの開催<岡山市>: R4.8.23(火) (会場)イオンモール岡山 (参加人数)1,000人 オープニングイベントへ市町のキャラクター参加、取組紹介パネルの展示 ・真庭SDGs円卓会議の開催<真庭市>: R5.1.20(金) (会場)久世エスパホール (参加人数)会場内154人(別途オンライン傍聴可) 取組紹介パネルの展示 ・他圏域との連携 高梁川流域連携中枢都市圏と相互に研修参加 【その他】 ・実務担当者会議の開催 R4.5.27 第1回実務担当者会議 R4.10.28 第2回実務担当者会議		・参加者がSDGsに対して関心を集め、更なる理解促進につなげられるよう、研修や啓発イベントの内容を検討していく。 ・引き続き、各市町と連携を強化していくとともに、課題解決に向けて整理・検討していく。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	ESD・SDGs研修会の参加者数	338人(累計) (平成29～令和2年度)	109人 (令和4年度)	450人(累計) (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

⑱

取組	教育・文化・スポーツの振興	事務事業	岡山芸術創造劇場を活用した文化連携	
関係市町	★岡山市 ■津山市 □玉野市 ■総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 □和気町 ■早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・岡山芸術創造劇場の整備及び開館に向けたプレ事業の実施 ・関係市町で行われている文化芸術事業やイベントの広報等の情報共有や情報発信の相互協力 ・新劇場で制作した作品やワークショップなどのコンテンツを関係市町で実施 ・関係市町で行っている文化芸術事業やイベントなどを新劇場の舞台で実施 ・関係市町と共同による創作作品の制作 など (見込まれる効果) ・圏域の文化力の向上に資する。 (岡山市の役割) ・岡山芸術創造劇場の整備及びプレ事業の実施 ・担当者会議の開催、連携市町の情報の収集、共有及び共有された関係市町情報のPR (連携市町の役割) ・担当者会議への参加、情報の提供、共有及び共有された関係市町情報のPR		・岡山芸術創造劇場の整備 令和4年12月28日 引渡完了、以降は備品搬入や設備の習熟等を実施 ・開館プレ事業の実施 令和4年6月11日 「ロビー・ヒーロー」演劇公演実施(岡山市民文化ホール) 令和4年9月4日 開館1年前カウントダウン企画「劇場へ行こう！」実施 周辺商店街と連携 令和5年2月19日 「日本昔ばなしのダンス」2回公演満席(西川アイプラザ) その他、小学校アウトリーチ事業、市民公募プログラム、ワークショップ等を実施		・情報連携や情報発信力の強化、劇場整備後の具体的な連携の在り方が課題となっている。 ・引き続き情報連携を強化していくとともに、開館後の連携を検討していく。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	施設整備	—	—	施設稼働(令和5年度)

⑲

取組	教育・文化・スポーツの振興	事務事業	トップスポーツチームの支援	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 ■総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ★赤磐市 ■真庭市 ★和気町 ■早島町 ■久米南町 ■美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・ホームゲームへの来場者数増加及び、圏域市町の広報機会創出に向けた取組を行う。 (見込まれる効果) ・圏域内の地域スポーツの発展が期待できる。 ・圏域内の交流人口の増加が期待できる。 (岡山市の役割) ・担当者会議の開催 ・事業内容の提案、検討、実施 (連携市町の役割) ・担当者会議への参加 ・事業内容の提案、検討、実施(参加)		・ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、岡山リベッツ、トライフープ岡山のPRポスターを連携市町へ配布。 ・ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、岡山リベッツの健康スポーツ教室について連携市町へ参加者募集。 ●ファジアーノ岡山：ウォーキングイベント(R4.9.17) ●岡山シーガルズ：ストレッチ教室(R4.9.4) ●岡山リベッツ：健康卓球教室(R4.11.5) ●トライフープ岡山：1DAYスポーツアカデミー(R4.12.10) ・トライフープ岡山のホームゲーム(R5.1.21)において連携市町協働イベントを実施予定であったが、相手チームのコロナウイルス陽性者の発生等により試合が中止となったため、それに伴い連携市町協働イベントも中止。 ・担当者会議の開催 第1回：令和4年7月25日 内容：令和4年度の事業内容について協議。 第2回：令和5年3月23日 内容：令和4年度事業の報告と令和5年度事業内容について協議。		・より多くの連携市町がイベントに参加できるよう各市町へ呼びかけていく。(参加するメリットを感じてもらおう。) ・事務計画に基づき、事業を進めていく。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	各チームのホームゲーム平均入場者数(4チーム計)	5,800人(令和2年度)	10,700人(令和4年度)	13,300人(令和8年度)

【連携分野:圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

⑳

取組	地域生活機能の強化	事務事業	有害鳥獣対策研究	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 □総社市 ■備前市 ★瀬戸内市 □赤磐市 ■真庭市 ■和気町 □早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・各自自治体で実施している被害対策について情報を共有し、各市町のより効果的な対策に生かす。 (見込まれる効果) ・有害鳥獣による農作物被害の減少につながる。 (岡山市の役割) ・担当会議の開催、情報の共有 (連携市町の役割) ・担当会議への参加、情報の共有		・担当会議の開催 第1回:令和5年2月実施 於:岡山市 内容:各市町の現状・課題を共有し、対策を考える。		・会議を開催し、各市町の被害や対策の現状を情報共有する。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	担当会議の回数	2回/年 (平成29～令和2年度)	1回 (令和4年度)	2回以上/年 (令和4～8年度)

㉑

取組	地域生活機能の強化	事務事業	学生等による地域課題への取組	
関係市町	★岡山市 □津山市 □玉野市 □総社市 ■備前市 □瀬戸内市 □赤磐市 ■真庭市 □和気町 □早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・岡山市が実施する「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」について、その活動範囲を従来の「岡山市内」から「圏域内」に拡大して実施する。 (見込まれる効果) ・地域づくりを担う人材育成と若者の地域への定着が推進される。 (岡山市の役割) ・連携市町の地域課題取りまとめ ・学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクトの実施 (連携市町の役割) ・地域課題の提案 ・学生の活動に対する支援(課題の概要説明等)		・学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクトの実施 ●参加学生 単一大学等のグループ : 9大学等から16グループ 183人 複数大学等のグループ : 8大学等から4グループ 23人 ●キックオフの開催 令和4年6月15日 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクトの進め方の説明、学生の活動を伴走支援するコーディネーターの紹介、参加学生の顔合わせ ●中間報告会の開催 令和4年10月15日 各グループの活動報告、他グループの学生との交流を目的としたグループワーク【お題:若者が岡山市に定着するためには】 ●活動報告会の開催 令和5年2月18日 各グループの活動報告、審査員によるグランプリ、準グランプリの決定 ●連携市町の地域課題を取りまとめ、参加学生に「活動テーマ一覧」として提示 ●参加グループ(20グループ)のうち、1グループが連携市町の観光名所等を「YouTube」で動画配信 ●連携市町の職員が、学生が活動内容を発表する活動報告会に参加		・学生に取り組んでもらいたい連携市町の地域課題について調査し、学生募集時に例示する。 ・連携市町の地域課題に取り組む学生の希望により、連携市町は、地域課題についての現状等について説明、取り組みへの協力をする。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	連携市町の課題に取り組むグループ数	—	1組 (令和4年度)	5組(累計) (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

⑳

取組	災害対策の推進	事務事業	風水害対応力の向上	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ■玉野市 ■総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 ■赤磐市 □真庭市 ■和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・風水害体験施設、水難救助訓練施設の整備(岡山市南消防署に整備予定) ・風水害体験施設(風雨等荒天時の状況を疑似体験できる施設)を使用し、「避難行動に関する研修」を実施 ・水難救助訓練施設を使用し、浸水域における救助技術や安全管理といった、「災害対応力向上に関する研修」を実施 (見込まれる効果) ・圏域内の大雨等による避難指示発令時の実効性の向上及び災害救助にあたる消防職・団員の対応力の向上 (岡山市の役割) ・施設整備 ・研修の企画、募集 ・施設を活用した研修プログラムの提供 (連携市町の役割) ・研修参加者の募集、取りまとめ等 ・研修参加者の派遣に関する実務 ・研修参加に必要な装備・資機材の調達		・施設整備に向け、令和4年度に実施設計を完了 ・連携市町へ施設整備状況等を情報共有(令和4年9月)		・引き続き、施設整備を進めて行く。連携市町に対しては、必要事項の情報共有を行っていく。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	施設整備	—	—	整備完了 (令和6年度)

㉑

取組	環境保全の推進	事務事業	ごみ焼却処理相互支援	
関係市町	★岡山市 □津山市 ★玉野市 □総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ★赤磐市 □真庭市 ★和気町 □早島町 ■久米南町 □美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・ごみ焼却処理施設において、トラブルによる緊急停止時、総合保守点検時の停止によってピット残量に余裕がない時期の一時的受入れを、ごみ処理施設の余力の範囲で行う。 (見込まれる効果) ・安定的なごみの焼却処理につながる。 (岡山市の役割) ・ごみの受入れ (連携市町の役割) ・ごみの受入れ		・受入の必要がなかったため、実績なし		・連携市町との情報共有を図るとともに、受入について必要に応じ協議を行う。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	ごみ処理受入率	100% (平成30年度)	—	100% (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

⑭

取組	環境保全の推進 圏域マネジメント能力の強化	事務事業	広域ごみ処理施設整備
関係市町	★岡山市 □津山市 ★玉野市 □総社市 □備前市 □瀬戸内市 □赤磐市 □真庭市 □和気町 □早島町 ■久米南町 □美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印		
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)	
(事業概要) ・国の方針に基づき、岡山ブロック構成市町と連携し、広域ごみ処理施設の整備を行う。 (見込まれる効果) ・安全・安定的なごみの焼却処理ができる (岡山市の役割) ・岡山ブロック協議会の運営 ・可燃ごみ広域処理施設の整備 (連携市町の役割) ・岡山ブロック協議会への参加		・岡山ブロック協議会の開催(令和4年4月21日、令和4年11月8日※書面開催) ・可燃ごみ広域処理施設の整備(旧岡南環境センターの解体工事の実施にあたり、工事に関する住民説明会を複数開催したことによる工事着手の遅延や予期せぬ地中障害物の撤去が生じたが、工期内の事業完了に向けて工事を進めている。)	
		今後の課題・方向性	
		・可燃ごみ広域処理施設の整備において、特に工事に関する近隣住民の理解を得ることに時間と労力を要している。 ・工事の節目ごとに説明会を開催するなど、近隣住民の理解を得られるように努めるとともに、工事の施工にあたり近隣住民の生活に十分配慮する。	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値
	施設整備	—	—
			目標値
			完工 (令和8年度)

⑮

取組	環境保全の推進	事務事業	瀬戸内の海洋保全
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 ★総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ★真庭市 ★和気町 ★早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印		
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)	
(事業概要) ・連携市町において、瀬戸内海に流入する河川の清掃活動を年2回(春、秋)同時期に行う。また、海に面した市町については、海岸の清掃活動も検討する。 ・「海ごみ問題」の意識啓発を図るため、フォーラム及びパネル展示を開催する。 (見込まれる効果) ・海ごみの削減及びごみ削減の意識の向上につながる。 (岡山市の役割) ・担当者会議の開催 ・岡山市での清掃活動の実施及び回収ごみの処分 ・フォーラム、パネル展の開催・運営 (連携市町の役割) ・担当者会議への参加 ・各市町内での清掃活動の実施及び回収ごみの処分 ・パネル(清掃活動報告)等の原稿案の作成		・担当者会議の開催 令和5年3月22日 内容:各市町の取組み状況の共有等 ・三大河川水系の河川等で清掃活動 岡山市 R4.6.26 宝伝の海岸清掃 R4.10.9 岡山のランナー集まれ!街中クリーン大作戦 R5.3.12 笹ヶ瀬川一斉クリーンアクト 津山市 R4.6.5市内3河川についてボランティアによる清掃活動 玉野市 R4.7.3リフレッシュ瀬戸内 渋川海岸清掃 総社市 R4.11.6クリーン作戦及び「高梁川流域 瀬戸内海ブルーオーシャン事業」 備前市 R4.7.3 リフレッシュ瀬戸内 瀬戸内市 年度内 海ごみ回収 赤磐市 R4.9.4市内一斉清掃 真庭市 R4.11.20JR姫新線×旭川りんくろラインdeエコマルシェ 和気町 R4.9.24他一斉清掃 早島町 R4.10.30児島湖流域清掃大作戦&クリーンウォーキング ・「海ごみ」をテーマにしたフォーラム及びパネル展示の開催 SDGs海川フォーラム2023～持続可能な社会に向けて～ R5.2.5 会場:杜の街グレース会議室 SDGsパネル展 R5.2.5 会場:杜の街グレース会議室 R5.2.16,17 会場:岡山市役所本庁舎1階市民ホール	
		今後の課題・方向性	
		・フォーラムやパネル展を継続して開催することで、海ごみ問題について考え学ぶ機会を提供するとともに、ごみのポイ捨て等に関する住民の意識や行動の変容につなげ、瀬戸内海の保全に繋げる。 ・連携中核都市圏内の各市町による取組を発信し、河川流域の自治体連携による広域的な取組を見える化する。	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値
	清掃活動への参加者数	1,000人/年 (令和3年度)	4,311人 (令和4年度)
			目標値
			1,500人/年 (令和8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

②6

取組	環境保全の推進	事務事業	気候変動対策	
関係市町	★岡山市 ★津山市 ★玉野市 ■総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ★真庭市 ★和気町 ★早島町 ■久米南町 ★美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・連携中枢都市圏の市町に近隣自治体、民間事業者、地元大学等を加え、好取組事例や課題の解決策を研究する。(※ゼロカーボン研究会) ・単独自治体で実施するよりも、共同して行う方が効果的と考えられる事業を実施していく。 ・国の地域循環共生圏の考え方に沿った新たな事業について検討する。 (見込まれる効果) ・二酸化炭素排出削減につながる。 (岡山市の役割) ・担当会議や研究会等の開催及び連絡調整 ・情報収集及び取りまとめ ・岡山市での連携事業の実施 (連携市町の役割) ・担当会議や研究会等への参加 ・各市町での連携事業の実施		・担当会議の開催 第1回：令和4年5月18日 於：中区役所2階多目的ホールA 内容：令和4年度の実施事業について 第2回：令和5年1月31日 於：中区役所2階多目的ホールA 内容：令和4年度の事業の実施状況と令和5年度の実施について ・ゼロカーボン研究会の開催 第1回：令和4年5月18日 於：岡山市中区役所 2階多目的ホールA 内容：家庭部門の脱炭素化について 第2回：令和4年7月28日 於：岡山市勤労者福祉センター5階体育集会室 内容：農業分野における脱炭素化について 第3回：令和4年10月6日 於：岡山ガス株式会社新本社ビル5階大ホール 内容：業務部門の脱炭素化について 第4回：令和4年11月25日 於：岡山市中区役所2階多目的ホールA 内容：運輸部門の脱炭素化について 第5回：令和5年1月31日 於：岡山市中区役所 2階多目的ホールA 内容：再生可能エネルギーの最大限導入に向けたソリューション ・「一斉ライトダウンキャンペーン」の実施 期間：令和4年6月21日～令和4年7月7日 ・Jクレジット制度の運用 「あつ晴れおかやまエコクラブ」に793人が入会 ・太陽光発電設備等共同購入事業 970人が参加登録		・脱炭素に対する意識レベルが市町によって異なる。 ・既存事業への市町の参加を促すとともに、新規事業の導入を目指す。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	共同実施する事業件数	1件 (令和3年度)	4件	4件 (令和8年度)

②7

取組	環境保全の推進	事務事業	水辺教室等環境教育の推進	
関係市町	★岡山市 ■津山市 □玉野市 □総社市 □備前市 □瀬戸内市 ■赤磐市 ★真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 □吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・各市町において企画した市民参加型の生きもの調査や里山づくり活動などの自然体験行事について、情報共有を行い、広報や実施結果の発信を行う。 (見込まれる効果) ・市民の河川環境への意識が高まり、河川の水質改善と河川環境の保全につながる。 (岡山市の役割) ・担当会議の開催 ・自然体験行事等の実施 (連携市町の役割) ・担当会議への参加 ・自然体験行事等の実施		・連携市間で情報共有した自然体験行事 いいかも！おかやまの自然Instagramフォトコンテスト3(岡山市)、いいかも！おかやまの自然Instagramフォトコンテスト4(岡山市)、環境体験ツアー 水の学校2022(津山市)、高松水辺教室 わくわくおさかな調査隊 in 足守川(岡山市)、里山遊び隊！探しに行こう 身近な自然(赤磐市・岡山市)、いいかも！おかやまの自然Instagramフォトコンテスト5(岡山市)、環境体験ツアー 森の学校 きのこ植菌体験&里山散策(津山市) ・担当会議 第1回：令和5年1月31日 参加市：津山市、赤磐市、真庭市、岡山市 開催方法：Web会議(Zoom) 内容：①各市で実施した自然体験行事の概要 ②ピックアップ事業の紹介 ③次年度の予定		・より積極的に情報共有することを連携市に促していく。 ・引き続き岡山市、連携市間で自然体験行事を情報共有し、今後の企画内容のブラッシュアップにつなげる。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	連携して行う自然体験行事数	1回 (令和2年度)	7回 (令和4年度)	6回 (令和8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

28

取組	生活交通による公共交通ネットワークの充実	事務事業	路線バス等生活交通の維持・確保	
関係市町	★岡山市 □津山市 ★玉野市 □総社市 □備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 □真庭市 □和気町 □早島町 ★久米南町 □美咲町 ★吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)	今後の課題・方向性	
(事業概要) ・岡山市と連携市町を繋ぐ生活交通の確保 ・高齢者・障害者の運賃割引制度の対象エリア拡大の検討(岡山市⇒連携市町) (見込まれる効果) ・利用者の公共交通の利便性向上が期待できる。 (岡山市の役割) ・連携市町との情報共有 ・連携取組の進捗管理 ・岡山市での連携事業の実施 ・公共交通会議の開催(案件が生じた場合) (連携市町の役割) ・岡山市等との協議及び調整 ・各市町での連携事業の実施 ・公共交通会議の開催(案件が生じた場合)		・市町を繋ぐ生活交通の確保 ①玉野市のコミュニティバスの路線延長、玉野市の乗合デマンドタクシー「シートタク」と岡山市瀬崎町追川地区の乗合デマンドタクシー「フンタク」との連携(岡山市・玉野市) 【玉野市】利用者ニーズの把握に向けた交通事業者等との協議、情報共有(8/4) ②岡山市東区西大寺と瀬戸内市を結ぶバス路線の利用促進(瀬戸内市) 【瀬戸内市】R4.9.30に廃止したバス路線について、市民の移動手段を確保するため、市内路線分について、市営バス化を実施。 ③岡山市・久米南町間のバス路線に関する検討(久米南町) 御津建部コミュニティバスに関する検討結果を久米南町に報告(12/21) ④岡山市・吉備中央町間のバスネットワークの再構築及び利用促進に関する検討(吉備中央町) ●岡山市・吉備中央町間の自家用有償旅客運送登録更新に係る地域公共交通会議(書面審議)の開催(8/26) ●「きびプラザ～岡山医療センター線」の実証運行期間をR7.3末まで延長 ・高齢者・障害者の運賃割引制度の対象エリア拡大(岡山市⇒連携市町) ●高齢者・障害者の運賃割引(ハレカハーフ)事業の説明会の開催(5/12) 参加市町：岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市 【赤磐市】高齢者・障害者の運賃割引制度(ハレカハーフ)導入に向けた岡山市との個別協議	・シーバス及びシートタクの延伸に係る方針を交通会議で協議するにあたり、利用者ニーズを十分に把握する必要がある。移動ニーズの把握に向けて、交通事業者等との協議や情報共有を進めるとともに、目的(娯楽、趣味、日常生活等)・頻度別など、一層の詳細なニーズの把握手法を検討する必要がある。 ・運賃割引(ハレカハーフ)事業への参画には大きな費用がかかるため、財源として国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用することで調整。実施に向けて、関係者との調整を進めていく。 ・岡山医療センター線の利用が低調であるため、利用者アンケートを実施し、運行日や運行時刻等の見直しを図っていく。 ・御津建部コミュニティバス路線の久米南町への延伸以外の新たな接続方法を検討していく。	
KPIの状況	指標	基準値	現状値	目標値
	主要バス路線利用者数	24,612人/日 (令和2年度)	27,530人/日 (令和4年度)	26,079人/日 (令和8年度)

29

取組	圏域内への移住・定住の促進	事務事業	移住促進連携	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 ★総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 ★和気町 ★早島町 ■久米南町 ★美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)	今後の課題・方向性	
(事業概要) ・移住希望者の多くの方が、県南や県北といった行政区域を越えての広域情報の提供を求めている傾向があることから、移住者ニーズに応えるため圏域内の市町と共同で各事業を実施する。 (見込まれる効果) ・圏域への移住人口の増加につながる。 ・圏域の知名度を向上させることにつながる。 (岡山市の役割) ・事業の実施と取りまとめ ・担当者会議の開催 ・移住相談イベント、おかやまぐらし相談センター及びウェブサイトの運営 ・移住下見ツアーの実施 (連携市町の役割) ・事業への参加、協力 ・担当者会議への参加 ・移住相談イベント、移住下見ツアーへの参加 ・おかやまぐらし相談センター、ウェブサイトの運営協力		・担当者会議の開催(全てオンラインで実施) 第1回：令和4年6月1日 内容：令和4年度事業について 第2回：令和4年8月23日 内容：連中圏としての今後の取り組みについて 第3回：令和4年10月25日 内容：各市町の最近の相談状況について 第4回：令和4年12月20日 内容：意見交換 第5回：令和5年2月21日 内容：令和5年度の事業計画について ・移住相談会(東京・大阪)の共同実施 大阪 令和4年9月11日 於：難波御堂筋ホール 参加市町10市町 参加者18組 東京 令和5年2月5日 於：東京交通会館 参加市町11市町 参加者39組 ・オンライン座談会の共同実施 第1回：令和4年6月24日 参加市町13市町 参加者15組 第2回：令和4年11月11日 参加市町11市町 参加者9組 ・移住下見ツアーの共同実施 バスを借り上げ、岡山市を含む2市町を巡る下見ツアーを開催 令和4年9月17日～18日 参加者10組 ・ウェブサイト「GYOSANおかやま」の更新 岡山連携中核都市圏移住情報公式サイト「GYOSANおかやま」の情報を更新 ・移住相談窓口「おかやまぐらし相談センター(東京・大阪)」の運営 移住相談に加え、求人情報の提供も行う「おかやまぐらし相談センター」を運営 (窓口設置場所)東京 東京都千代田区 大阪 大阪府大阪市	・県外での移住相談会を連携中核都市圏が主催して開催したが、来場者数が少なかった。 ・県や他団体が開催する県外での移住関連イベントも増えてきているため、連携中核都市圏では、オンラインを活用したイベントに力を入れていく。	
KPIの状況	指標	基準値	現状値	目標値
	移住定住支援により圏域内に移住した人数	400人 (令和2年度)	520人 (令和4年度)	600人 (令和8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

③①

取組	結びつきやネットワークの強化	事務事業	公共施設の相互利用の仕組み構築	
関係市町	★岡山市 ★津山市 ★玉野市 ■総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 ★和気町 ★早島町 ■久米南町 ★美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)	今後の課題・方向性	
<p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係市町住民への図書館資料の貸出および、居住自治体図書館での返却サービスの提供。 関係市町内の小学生を対象に、社会教育・観光施設等の特定の公共施設を無料で利用できるパスポートを作成するとともに、相互利用につながる事業を実施 <p>(見込まれる効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館の利便性向上による利用促進につながる。 公共施設の利便性向上による利用促進につながる。 <p>(岡山市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当者会議の開催、図書館相互返却サービスに関する統計集約、搬送費の契約及び広報資料作成 実務担当者会議の開催、検討材料の情報収集及び意見取りまとめ、事業各種調整 <p>(連携市町の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当者会議への参加、図書館相互返却サービスに関する統計データ・搬送データ送付 実務担当者会議への参加、情報の収集、連携市町間での意見交換、事業各種調整 		<p>(図書館相互利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館資料の相互貸出 R4年度は、7市5町で14万8千冊の利用があった。R3年度は、コロナ禍で久米南町相乗の効果は少なかったが、R4年度は国道53号線沿いの近隣自治体(美咲町・津山市など)の利用を増やすことができた。 担当者会議の開催 令和4年10月 書面開催 内容: 予算執行経過について、連携図書館ガイドブック作成について、R5年度予算案について、マイナンバーカードの図書館カード共用化について、電子図書館の研究について (子どもパスポート) 子どもパスポート事業の実施 ①子どもパスポートの配布 配布時期: 令和4年7月 配布数: 67,680冊 配布対象: 圏域内の児童(1~6年生) 配布時期: 令和5年3月 配布数: 13,820冊 配布対象: 圏域内の児童(新1年生) ②子どもパスポート事業スタンラリー実施(令和4年7月19日~令和5年1月15日) ③イベントの実施 令和4年8月11日 ほか13日間 内容: マジックショー、バルーンショー、ドローン×プログラミング学習教室 実務担当者会議の開催 第1回: 令和4年10月 書面開催 内容: 令和5年度予算規模及び実施方法の決定 第2回: 令和4年12月15日 於: 岡山市 内容: 令和3年度実績報告、令和4年度11月時点実績報告、令和5年度の仕様書案決定、事業のあり方等について、令和6年度以降の事業のあり方等について 参加市町: 岡山市、津山市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町 子どもパスポート事業業務委託企画競争委員会の開催 開催日: 令和5年3月17日 於: 岡山市 内容: 令和5年度子どもパスポート事業業務委託の実施事業者選定 参加市町: 岡山市、津山市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、久米南町、吉備中央町 	<p>(図書館相互利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者への相互利用での貸出・返却等のしくみの周知が更に必要(貸出等の決まりは各市町図書館に準じていることや、相互返却は、借りた館か、利用者のお住まいの自治体のみ可能であることなど)。 (子どもパスポート) デジタルトランスフォーメーション(DX)の活用などによる、アフターコロナにおける施設利用者数を増やす、より効果的な仕組みづくりの検討が必要。庁内外関係者間で協議、情報共有をしながら進めていく。 	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	住民一人あたりの図書館年間貸出冊数	6.1冊 (令和元年度)	5.6冊 (令和4年度)	6.2冊 (令和8年度)
	子どもパスポート掲載施設の利用者数 (利用者数を把握していない2施設を除く。)	1,195,144人/年 (令和2年度)	1,810,240人 (令和4年度)	2,000,000人/年 (令和8年度)

③②

取組	結びつきやネットワークの強化	事務事業	包括連携協定に基づく公民連携	
関係市町	★岡山市 □津山市 □玉野市 □総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 □赤磐市 □真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)	今後の課題・方向性	
<p>(事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 連携中枢都市である岡山市が民間企業と締結する包括連携協定において、連携項目に「岡山連携中枢都市圏の取組に関すること」を新たに追加することとし、包括連携協定の効果を圏域全体に波及させる。 <p>(見込まれる効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間企業の有する資源(技術、ノウハウ等)を積極的に活用することで、圏域の持続的な発展を図る。 <p>(岡山市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間企業との包括連携協定の締結・改訂 民間企業からの提案事業を連携市町に共有 連携市町と民間企業との取組実施調整 取組実施(セミナー、勉強会等) <p>(連携市町の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業提案 取組実施(セミナー、勉強会等) 		<ul style="list-style-type: none"> 地方創生に係る包括連携協定に基づく公民連携事業の実施 協定締結企業については順次協議を行っているが、岡山県や他市町村とも既に協定締結している、営業所の管轄等が違う等の理由で、協定変更に至らなかった。 新たに協定を締結した一部の企業との協定について、連携項目に「連携中枢都市圏での取組に関すること」を盛り込んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市と協定を締結している企業は、岡山県とも締結済み、管轄地域が異なるという理由で、連携項目の追加が困難な状況。 連携市町、協定先企業と連携可能な事業について協議し、連携項目に盛り込めるよう努める。 	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	連携中枢都市圏を対象とする協定の締結・改訂数	—	1件 (令和4年度)	5件(累計) (令和4~8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

32

取組	結びつきやネットワークの強化	事務事業	市民協働事業の推進	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 ■総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 ★和気町 □早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・岡山市及び連携中枢都市圏における地域課題等に対応したフォーラムや各種研修・講座等を開催し、地域課題の解決に向けた手法・ノウハウ等を学ぶ。 ・連携中枢都市圏における地域課題に対して、特技・ノウハウを有する市民活動団体等をコーディネーターとして派遣し、課題解決に向けた支援を行う。 ・災害発生後の復旧期における災害ボランティアの重要性や災害ボランティア派遣の調整等に関する研修を行う。 ・岡山市及び連携中枢都市圏において活動を行っている団体の活動を「おかやま団体検索サイト」へ登録、講座開催やSNS等を活用し、広く情報発信・情報共有する。 (見込まれる効果) ・課題解決を行う主体的な市民活動の広域展開が促進される。 ・市町の区域を越えて地域の課題解決を図る協働のパートナーの増加につながる。 (岡山市の役割) ・担当者会議の開催 ・研修・講座やコーディネーター派遣等の実施 ・「岡山団体検索サイト」への登録やSNS等による情報発信 ・その他、連携中枢都市として必要な事業の実施 (連携市町の役割) ・担当者会議への参加 ・研修・講座の参加やコーディネーター派遣の利用 ・「岡山団体検索サイト」への登録やSNS等による情報発信 ・その他、連携市町として必要な事業の実施		・市民協働推進本部会議の開催 令和4年6月9日 於：岡山市勤労者福祉センター 内容：講演「協働を確かなものにする職場マネジメントとは」他 ・市民協働推進事業報告会・協働推進員研修会の開催 令和4年6月30日 内容：講演「協働に必要なプレゼンテーションの極意を学ぶ」、協働推進事業(2事業)の報告他 ・地域協働フォーラムの開催 令和4年11月3日 内容：講演「企業の地域貢献活動が地域を強くする」と企業による活動事例報告他 ・災害ボランティア基礎講座の開催 令和4年6月26日 内容：災害ボランティアについての講演、体験談報告、意見交換 ・おかやま団体検索サイトの運営 岡山市のホームページをリニューアルし、各市町のホームページにリンクを設定し、情報発信を行う		・連携市町間で共通する課題を探っていく。 ・災害ボランティアに関する担当部局が異なっており連携しにくい。 ・岡山市と各市町の共通する課題に対するフォーラム等を検討し、連携市町の参加を促進する。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	市民協働事業への参加者数	157人／年 (平成29～令和2年度)	219人 (令和4年度)	800人(累計) (令和4～8年度)

33

取組	圏域マネジメント能力の強化	事務事業	外部専門人材の活用	
関係市町	★岡山市 ■津山市 □玉野市 □総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 ■赤磐市 □真庭市 □和気町 ■早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・岡山市が民間企業の最前線で活躍している、専門的な知見と豊富な経験をもつ人材(外部専門人材)を募集する。 募集の結果、選ばれた外部専門人材は、対象分野における課題解決のために必要な助言・提案等を行う。または、職員のスキルアップのための研修を行う。 (見込まれる効果) ・取組の実行性の向上と職員の知識等の向上につながる。 (岡山市の役割) ・外部専門人材の募集 ・研修会、個別相談会の開催 (連携市町の役割) ・研修会、個別相談会への参加		・外部専門人材による個別相談会 8月～11月：個別相談会(DX分野)の開催(試行) 連携市町(赤磐市政策推進課、赤磐市総務課、早島町) 圏域市町(玉野市、美咲町) ・担当者会議の開催 第1回：令和4年7月21日 オンライン 内容：DX分野の個別相談会の開催案内、DX分野の外部専門人材の紹介		・試行的な個別相談会の分野拡大。 ・試行的な個別相談会に参加した連携市町が、次年度から本格的に外部専門人材を活用する場合は個別に予算化が必要になるので、その点を連携市町に説明しつつ推進していく。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	研修会等実施回数	—	7回 (令和4年度)	5回(累計) (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

③④

取組	圏域マネジメント能力の強化	事務事業	人事交流・育成	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 ★総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ★真庭市 □和気町 ■早島町 □久米南町 ★美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・関係市町の間で職員派遣(相互派遣等)を行う。 ・関係市町の間で職員研修の交流を行う。 (見込まれる効果) ・職員の資質の向上につながる。 (岡山市の役割) ・職員派遣に関する連携市町との個別協議 ・研修開催、取りまとめ (連携市町の役割) ・職員派遣に関する岡山市との協議 ・研修参加		・令和3年4月～令和6年3月の期間、玉野市へ職員を相互派遣(1名) ・令和4年4月～令和6年3月の期間、瀬戸内市(消防)へ職員を相互派遣(1名) ・圏域内市町職員を対象とした研修の開催 ①交流研修の選定 ②圏域内市町への連絡及び研修の案内 ③6つの研修を実施 A 会議力向上研修(R4.8.19_37名(市28名、津山市2名、玉野市1名、真庭市2名、備前市1名、吉備中央町1名、倉敷市2名)) B クレーム対応力強化研修(R4.8.23_17名(市9名、玉野市6名、総社市1名、吉備中央町1名)) C 情報の見える化研修(R4.8.26_32名(市27名、備前市1名、真庭市3名、倉敷市1名)) D 行動経済学(ナッジ理論)ビジネス活用研修(R4.12.21_39名(市26名、津山市3名、総社市1名、備前市2名、真庭市3名、倉敷市4名)) E データ分析・活用研修(R5.1.25_35名(市28名、倉敷市3名、玉野市2名、総社市1名、瀬戸内市1名)) F 都市経営講座(R5.3.14_161名(市154名、倉敷市1名、玉野市1名、備前市1名、瀬戸内市1名、吉備中央町3名))		・職員派遣について、引き続き検討・協議を行う。 ・研修について、引き続き交流研修を実施し、連携市町へ案内する。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	圏域内市町職員を対象とする研修実施回数	6回 (令和2年度)	6回 (令和4年度)	6回/年 (令和4～8年度)

③⑤

取組	圏域マネジメント能力の強化	事務事業	圏域データ等の活用	
関係市町	★岡山市 ■津山市 ★玉野市 ■総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 □和気町 ■早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・統計データ等を用いた地域分析に関する研修会や検討会等の開催 (見込まれる効果) ・圏域及び地域の特色等の分析により政策立案への活用が期待できる。 ・研修により関係市町職員の資質の向上につながる。 (岡山市の役割) ・研修会・検討会等の開催、 ・情報・データ収集、取りまとめ (連携市町の役割) ・研修会・検討会等への参加 ・情報・データ収集、提供		・地域経済分析に関する研修会の開催 第1回(基礎編):令和4年8月26日 於:岡山市(ハイブリッド開催) 参加市町:11市町(含む高梁川流域圏) 参加者数:29名 内 容:統計の基礎、統計の見方、統計の種類と活用など 第2回(応用編):令和5年1月20日 於:岡山市 参加市町:5市町 参加者数:15名 内 容:産業連関表、経済波及効果、地域経済循環分析など ・データ分析研修会の開催 令和5年1月16日 於:岡山市 参加市町:6市町 参加者数9名 ・地域分析に係る検討会の開催 令和4年5月23日 於:岡山市 内容:「圏域データ等の活用」事業の取組みについて ・他圏域との連携 上記研修会に、高梁川流域連携中枢都市圏の構成市町が参加		・各市町からの、より積極的な研修会への参加に向け、研修内容の見直しや環境整備(開催方式)等について、検討する
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	研修参加人数	55人 (令和元年度)	53人 (令和4年度)	60人/年 (令和4～8年度)

【連携分野:圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

③⑥

取組	圏域マネジメント能力の強化	事務事業	パートナーシップ宣誓制度の導入促進及び都市間相互利用	
関係市町	★岡山市 ★津山市 ★玉野市 ■総社市 ★備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ★真庭市 □和気町 ★早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・パートナーシップ宣誓制度の導入支援 ・都市間相互利用制度の導入促進 ・性的マイノリティに関する取組の効果的な実施に向けた調整 (見込まれる効果) ・多様性が尊重された都市圏を実現する。 (岡山市の役割) ・情報交換会の開催 ・情報収集、取りまとめ ・宣誓制度の導入及び都市間相互利用に関する調整 (連携市町の役割) ・情報交換会への参加 ・情報収集 ・宣誓制度の導入及び都市間相互利用に関する検討		・担当者会議の開催 第1回 日時:令和4年5月27日(メール) 内容:導入促進及び都市間相互利用のための情報交換 第2回 日時:令和4年7月1日(メール) 内容:導入促進及び都市間相互利用のための情報交換 第3回 日時:令和4年7月1日～令和4年10月1日(メール、電話、書面) 内容:都市間相互利用に向けて諸々の調整 ・都市間相互利用の促進 情報交換会の開催・情報収集、取りまとめ・宣誓制度の導入及び都市間相互利用に関する調整を十分に行っており、R4において連携中枢都市圏内外を含む形で新たに都市間相互利用の協定を締結することができた。		・今後、制度を導入する自治体への情報提供(支援)や事前協議(調整)をどのように行うか。 ・導入済の自治体、導入予定自治体の異なる制度内容をどのように調整するか。 ・個々の自治体の制度は、当該自治体で検討することなので、求められている情報を把握し連携中枢都市圏で情報共有する。協定における上記の調整はR3・R4を参考に行う。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	情報交換会の回数	3回 (令和3年度)	3回 (令和4年度)	3回/年 (令和4～8年度)

③⑦

取組	圏域マネジメント能力の強化	事務事業	行政サービス提供機能の最適化	
関係市町	★岡山市 ■津山市 □玉野市 □総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 ■赤磐市 □真庭市 □和気町 ■早島町 ■久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)		今後の課題・方向性
(事業概要) ・岡山市等におけるRPA導入事例やその工程(実証実験スケジュール等)の構成市町への紹介、研修会(勉強会)の開催等を実施する。 (見込まれる効果) ・デジタル技術活用手法の圏域内市町での共有をはじめとする連携を図ることにより、将来的な自治体機能のプラットフォーム化も含めた圏域における行政事務の効率化や住民サービスの向上を目指す。 (岡山市の役割) ・研修会の開催 ・情報収集、取りまとめ (連携市町の役割) ・研修会への参加 ・情報収集		・研修会の実施 第1回:令和4年8月25日 於:zoomオンライン会議 参加市町:津山市,備前市,瀬戸内市,赤磐市,吉備中央町 内 容:岡山市におけるデジタルツールの活用事例の勉強会 ・書面にて、令和5年度事務事業内容についての協議実施 令和4年10月		・今年度は岡山市職員が講師を行ったが、来年度以降はDX事業を展開する事業者を講師に招くなどを検討していきたい。
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	研修参加者人数	—	7人 (令和4年度)	80人(累計) (令和4～8年度)

【連携分野：圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

38

取組	圏域マネジメント能力の強化	事務事業	外国人コミュニケーション支援	
関係市町	■岡山市 ★津山市 □玉野市 ■総社市 ■備前市 ■瀬戸内市 □赤磐市 ■真庭市 □和気町 □早島町 □久米南町 □美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)	今後の課題・方向性	
(事業概要) ・行政窓口等での多言語対応に関する課題解決に向けた、外国人住民のコミュニケーション支援や行政情報の提供方法等について、関係市町での情報共有を行い、課題解決を図る。 (見込まれる効果) ・外国人住民のコミュニケーションにおける利便性向上を図り、誰もが暮らしやすい多文化共生の圏域構築が期待できる。 (岡山市の役割) ・連携市町との連絡、調整、協議、調査等の取りまとめ (連携市町の役割) ・岡山市と連携し、協議、調査等に共同で取り組む		・担当者連絡会議の開催 令和4年5月31日 ZOOM 参加市町：津山市、総社市、備前市、瀬戸内市、真庭市、吉備中央町 内容：各市町が抱える課題を共有し、課題解決に向けた協議を行った。	・外国人人口が増加していることは参加市町の共通認識として有しているが、行政窓口での外国人対応の程度に自治体によって濃淡が見られる。 ・令和5年度にニーズ調査を実施し各市町が抱える課題を整理し、実施事業など方針を決定	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	方針の決定	-	-	方針の決定 (令和5年度)

39

取組	圏域マネジメント能力の強化	事務事業	公共施設の質・量の適正化に向けた仕組み構築 ※広域ごみ処理施設整備は24に記載	
関係市町	★岡山市 □津山市 ★玉野市 □総社市 □備前市 ★瀬戸内市 ■赤磐市 ■真庭市 ★和気町 ★早島町 ■久米南町 ■美咲町 ■吉備中央町 ※提案市町は★印			
事業概要／見込まれる効果／役割		取組実績(R4)	今後の課題・方向性	
(事業内容) ・圏域内施設の状況の「見える化」及び発信 文化施設等、圏域内における住民利用施設について調査、及びデータ集約などの見える化と情報発信 ・圏域構成市町での公共施設相互利用の仕組みの構築 市内外の利用料金や施設予約システム等に伴う課題について、参加連携市町間で検討・協議 ・瀬戸内市新火葬場(仮称)の建設及び運営 (見込まれる効果) ・施設総量等の適正化及び、市民サービスの向上につながる。 (岡山市の役割) ・実務担当者会議の開催、検討材料の情報収集及び意見取りまとめ、事業各種調整(見える化、相互利用の仕組み構築) ・連絡会議の開催、進捗状況の把握、事業全般の協議(広域連携による火葬場の建設・運営) (連携市町の役割) ・実務担当者会議への参加、調査・情報収集、連携市町間での意見交換、事業各種調整(見える化、相互利用の仕組み構築) ・事業の推進、連絡会議の開催、進捗状況の情報提供、事業全般の協議(広域連携による火葬場の建設・運営)		・公共施設の相互利用の推進に係る事業の実施 ①スポーツ施設ホームページの更新(令和4年5月) ②スポーツ施設チラシの配布(令和4年5月) ③文化施設ホームページの作成(令和5年3月) ④文化施設チラシの作成(25,000枚)、配布(令和5年3月) ⑤スポーツ施設チラシの作成(10,000枚)、配布(令和5年3月) ●実務担当者会議の開催 第1回(書面開催) 令和4年10月 内容：スポーツ施設に次ぐ2事業目の施設分野を、文化施設に決定 第2回(岡山市開催) 令和4年12月15日 内容：文化施設チラシ案、スポーツ施設チラシ案の提示 参加市町：岡山市、津山市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町 ・新火葬場の建設 ●担当者会議の開催 令和4年4月20日 於：岡山市役所 内容：工事契約について 令和4年6月29日 於：岡山市役所 内容：土木工事の変更について ●連絡会議の開催 令和5年2月2日 於：岡山市東区役所多目的ホール 内容：事業の進捗状況及び令和6年度予算について ●造成工事の施工監理、火葬場設計施工業者の選定、火葬場の基本設計の実施	(見える化、相互利用の仕組み構築) ・圏域内における住民利用施設について調査及びデータ更新などを行う。施設の「見える化」については、対象施設、項目、発信方法を検討する。 ・圏域内のスポーツ施設、文化施設等を紹介するホームページやチラシを引き続き作成及び更新し、相互利用を促進する3事業目の検討など連携市町間で協議、情報共有しながら進めていく。 (新火葬場の建設) ・情報共有を図りながら、計画通りの「スケジュール・事業費」の進行を行う。	
KPIの状況	指 標	基準値	現状値	目標値
	「見える化」事業数	1事業 (令和2年度)	2事業 (令和4年度)	3事業 (令和8年度)
	瀬戸内市新火葬場(仮称)施設整備	-	-	施設稼働 (令和7年度)